

「社会を強くする工夫」 講師 姜 尚中 さん

[20 歳代]

- ・差別があるからこそ人は成長しようとするのではないかと思います。馬鹿にされないために。それが嫌で悩んでいます。参考になりました。
- ・差別が生まれる状況として学歴や親の仕事についても差が生まれる条件となるのだなと感じました。
- ・子どもたちの発表は、素直な気持ちが伝わってきて大変良かった。姜さんの講演会も様々な方面からのお話を聞くことができ、改めて人権・差別とは何かを考える良い機会となった。
- ・何度も泣いてしまうほど、心を打たれました。

[30 歳代]

- ・共生共苦共愉 ということがとても印象に残りました。少しの勇気と少しの覚悟。生活の厳しさから生まれていく差別のしくみがとてもわかりやすかったです。この状況で何ができるのかももう一度考えたいです。
- ・自治体職員として、まちづくりに生かしていける貴重なお話をお聞きできたと思います。歴史観を含め、いろいろと考える土台となることを聞いて、ためになりました。
- ・地域社会において差別することなく、楽しく生活を送れるようにしたい。「共に食べ、ともに笑う」そういう世の中になって欲しいものです。
- ・とても勉強になりました。身近なことから取り入れそれが拡大し、浸透していくと、社会も変わっていくと思います。
- ・子どもの純粋な残酷さ、子どもは墨の一滴でも全て吸収してしまう。大人として言動に気をつけなければならないと思いました。
- ・テロは外から来るのではなく内側からも来るのではないかという言葉がすごく印象に残りました。
- ・高校生の司会、小学生の作文、それを所々引用しての姜さんの講演と、どれもすばらしいもので、人権を大切にすする市のよさを感じました。
- ・差別を受けたことがある、したこともある 姜さんのお話だったので身にしみました。

[40 歳代]

- ・姜尚中さん。行動の人だなという思いです。在日として生まれ育ち、政治学者として現場に足をはこび、体験を通して思考する。実体験に基づいた講演は、心がかよっていて説得力があった。
- ・地域で啓発していく一人として、どのように地域をとらえ、取組を進めていけばよいのか、ヒントをいただいたように思います。
- ・とても記憶に残る多くのキーワード、アドバイスが含まれていて良かったと思います。今後の人生に活かしていきたいと思います。
- ・社会構造によって、差別が生まれる生まれないがあると言うのが驚きでもあり、納得もした。(高学歴学校いじめ少ないなど…)

[50 歳代]

- ・「格差が是正されない時に、希望を持たない時に、差別が出てくる。」「人を愛するが由に、普通の人が冷こくによって差別をする」という言葉が心にしみた。地域社会の重要性が確認できた。
- ・今までと違った視点での差別に対する話しはとても参考になった。職場でも、多くの人に伝えていきたいと思っています。

- ・「地方は見放されている」という言葉は、民間だけでなく、日本の政治システムから言ってもその通りだと思う。都会に職が集中し、地方には職が少ない状況の中で、雇用が生まれない為、貧困の再生産が行われている。国は地方創成などと言うが、地方で出来ることは限られており、恵まれない地域に居住する我々は、さらなる努力を行わなければならない。政治システムを含めて、差別のない社会になるよう努力していきたい。
- ・講演者（姜さん）が素晴らしい！日常では得られない情報をふんだんに提供してくれ、真実に近づける機会を与えてくれた。教養レベルが大きく飛躍した。また、小学生、中学生の発表のコメントをきちんといれてくれ、物事の見目のヒントを与えてくれた。人格者である人の講演ですばらしい時間がとれた。
- ・講師の先生の歴史観 部落差別のおこりのところの考え方が、昔の考え方だなあと思いました。これは、主催者から、ちがう と伝えてほしいなあと思いました。
- ・同じ食べ物を、同じように料理し、同じ時に食べる、同じ鍋をつつく。共生、共苦、共愉の地域社会を創り上げていくことが大切だということが心に落ちました。共に居て、共に同じように暮らす、そのことが楽しいと感じられることが、差別を無くす根幹であることが良くわかりました。
- ・具体的なお話で わかりやすかったです。「差別は差別をする側も阻害する」は、心に響きました。
- ・「しなやかに、強く生きていこう」と思いました。
- ・地域社会の中で多様な人が暮らしている 様々な背景をもちながら暮らしている そのあたたかさにふれる 生き方を 選びたいと思います そして 差別をなくす しない 生き方をしたいです
- ・姜尚中さんは、これまでたくさんの経験から、現代の社会の問題点について鋭く指摘されていました。とても共感することや、私自身がはっとさせられることがあり、興味深く聞くことができました。熊本県出身であるので、ハンセン病についてどう考えてあるのかな？と聞いていましたが、その点もよくわかりました。グローバルな社会の中で多様性を認め、共に生きることの大切さを考えることができました。
- ・共苦できる社会、どんな社会になっても、やはり個人の意識しだいですね。そして意識ある個人が、社会のあらゆる人と、共に生き、共に苦しみ、共に楽しむということをしなければいけませんね。
- ・本当に言いたい という思いが伝わる講演だったと思う。子供を持つ親としても、今の社会の貧困を含めた問題には何とかならないのかと思うことがよくある。母親どうして協力し合うこともあったが、一人一人が少しずつでも社会の中で何かをして行けば何か良い方向へと行くかもしれないと考える。
- ・姜さんの講演はとてもすばらしかったです。ゆっくりとした口調でわかりやすく、こちよ時間をお過ごし事ができ、本当にありがとうございました。
- ・社会の現状を改めて確認しました。“貧困の再生産”“かえるの子はかえるの子の社会” とても印象的な言葉でした。命は平等である。生きている地域で差別してはいけない。共に苦しみをわかちあいどんな人とも共に生きていく。多くのことを教えて頂きました。
- ・教育に携わるものとして、子ども達の教育格差を、改めて、確認するとともに、これから自分がすべきことを考えてみる機会になりました。
- ・今の社会のきびしさがよくわかったし、それをのりきる1人1人ができることについてもわかりやすくはなしてもらったと思います。
- ・いろいろな所で、時代の転換期を迎えていると感じた。時代にあった考え方を持つ必要があると思った。

[60歳代]

- ・愛情を内にだけそそがず、他人に少しでもそそぐことで、社会が見えてくると教えられました。表現がわかりやすい。素晴らしいものでした。
- ・自分の問題につながる内容があり、今後の考え方へアドバイスとなった。（鬼は外福は内ではダメ）
- ・ハンディキャップを持った人の話があり、いかに対応していかなければならないか、再度考えさせられました。一緒に食べて一緒にわらう！

- ・人間としてあたりまえの事がなかなかできないようです。改めてこれからの社会での自分の生き方、子供、孫に伝えていきたいと思っています。
- ・今考えていることを幅広く、とらえ直していくことが大切なことがわかった。
- ・人権という言葉の中に含まれる意味、感情、行動、人とのつながりの大切さをもう一度考えなおす一助となった。
- ・子供達の作文や詩はとても感動しました。姜さんの講演はほんとうに感動しました。時代は変わった変わっていく、その中で自分はどう生きて行くかどう見きわめているかを考えさせられました。自分の町をより良くするための道が少しはあると思えて良かったです。
- ・実際にお話を聞いてやさしい人柄、地域社会、みんなを愛すること、を学んだように思う。自分のこと、自分さえよければどう考えではなく共にわかちあう。一緒に考え支え合い、支えてもらうような社会が出来るよう、行動したいと思う。
- ・私も熊本出身なので、姜さんの熊本での話はよく理解できました。映画にもなった黒髪小の話が出たのには、その博識におどろきました。今の時代の“差別”の構造についてわかり易くご説明頂き、どんな心構えが必要かを、考える契機になりました。すばらしい講演でした。ありがとうございました。
- ・地域の大切さがよくわかりました。人間の生きる土台ですね。
- ・異質の考えの人たちの中で生きることの大事さを感じた。考えを広げることが強くなる豊かになることだと思います。
- ・広い視野からしっかりと人間社会のしくみをきく事ができて、とらえやすかったです。これから生きていく上で少し勇気もてました。

[70歳代以上]

- ・非常に参考になる話で、心してこれから暮らしていかなければならないと思いました。
- ・都市社会と地域社会の格差 問題点のクローズアップ 共生の対応 市民の受け入れ体制、転入者の心構え等々、多面に渡る人生の生き方のヒントをいただき、勉強になりました。今度は実践にて差別のない市を実現しましょう。
- ・本日の人権講演会は、人権講演会が色々あったが一番よかった。人権問題を中心にあらゆる角度から話があり、よくわかった。すばらしいお話でした。
- ・社会を強くする工夫＝地域を強く 同意語 格差が諸悪の根源（格差の是正） 勇気、覚悟を持って一緒に食べて、一緒に苦しむ（同じものを分かちあって）共生、共苦、共愉 楽しいことがなければ継続できない
- ・自分には差別の心は絶対存在しないものと思っていたが、差別ではないと思っていた事が差別であるという事に気づかされました。
- ・貧困が再生産され定着されようとしている社会になろうとしている現況（蛙の子は蛙でしかない社会）をなんとか打破しなければならないと痛感しました。
- ・識字を知らず「無告の民」になった人を差別している（現在）を改めなければ（時代背景）考慮せねばならないと思った。「生ある人」皆平等（国籍、人種、性別）に関係ない「愉」ある社会を共有する事が先ず一歩と思いました。
- ・世界の事情をちゃんと理解することができました。これまでの講師の中でNo.1でした。戦争は差別と貧困が原因である。
- ・今日のお話の中で、地域社会が土台であること、一人ひとりが強くなること、相手をうけ入れていく力があること よくわかりました。でもやっぱり、自分から出会おうとしていくことが大切と思いました。自分の考え方をしっかり強くしたいと！！